

平成30年度市政懇談会の主な質疑内容（階上地区）

<p>長磯浜自治会では、住民が一気に増えた。自治会活動、災害時の支援に不安がある。</p>	<p>地域づくり推進課長： 自治会長さんと、連絡を取り合い支援していきます。</p>
<p>西日本豪雨のような場合、基幹農道の西側から流れて来る水によって森合川の流れがどのように変わるか心配。また、川の中に木が生えている。川を塞ぎ止めてしまうので対応をお願いしたい。</p>	<p>土木課長： 基幹農道の西側から来る水は道路側溝等に流入し森合川や台ノ沢に流れてくることから、道路側溝の管理及び小規模河川の管理を引き続き進めます。河川内の太めの木については状況を確認し、対応します。</p>
<p>毎年6月の市内一斉清掃時に、住宅の無い所で刈り残る場所がある。今は林のように生い茂っているが、住民で出来かねている。</p>	<p>土木課長： 急勾配な法面や車の往来などで危険な場所については、地元の方々の安全を考慮し、市で対応しています。現地を確認し対応します。</p>
<p>コミュニティづくりと個人情報保護法との関係の中で、全国の他自治体で上手に運用しているところは無いのか。大変苦慮している。</p>	<p>地域づくり推進課長： 一昨年から自治連会長によるワーキング会議を行っています。その中で各地区にモデル地区を選定しています。どのような課題があるのか、10月中に集約し討議する予定です。</p>
<p>三陸道が開通したら階上地区を走る車が少なくなり道路が閑散としています。地域活性化のためにも、ハーフICである岩井崎ICをフルICにしてください。</p>	<p>三陸道・大島架橋・唐桑最短道整備促進課長： 岩井崎ICは国から許可をもらって市が整備したICであり、フルIC化には市の負担が生じることから、現時点では難しい状況です。階上地区の岩井崎や震災遺構への誘導については、三陸道本線へ案内誘導看板を設置するなど、適切な誘導を行います。</p> <p>市長： 今から岩井崎ICをフルIC化しようとしても平成32年度までの復興予算では対応できず、フルIC化はかなり難しい状況です。今後はフルIC化を考えるよりも、誘導看板を設置するなど、マイナス点をどうカバーすることに専念する必要があります。</p>
<p>備蓄倉庫内の食糧を確認したら期限切れがあった。期限が切れる前、早めに教えて欲しい。</p>	<p>危機管理課長： 避難所の備蓄品は、データベース化しています。食糧は賞味期限切れ前に自治会に照会し、防災に関する訓練等で利用して頂いています。期限切れがあった施設については、確認します。</p>